

ホタテガイ採苗速報

西湾では早い所で6月中旬から間引きができる見込み

1 ホタテガイの付着状況

5月26日～29日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1のとおりで、**ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で78,720個/袋**と平年値(過去10年の平均値)84,007個/袋とほぼ同じ、**東湾で456,128個/袋**と平年値312,953個/袋よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で0.75mm、東湾では0.67mmと、それぞれの平年値0.88mm、0.74mmよりも小さいサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は、全湾平均で224,372個/袋と平年値88,416個/袋よりかなり多く、ムラサキイガイでは28,649個/袋と平年値43,441個/袋よりも少ない状況です。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況

5月28日に陸奥湾9定点でラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で2,387個/m³と平年値(過去10年の同時期の平均値)759個/m³よりかなり多く、東湾平均で2,067個/m³と平年値2,271個/m³とほぼ同じ状況です。

付着直前の260ミクロン以上の割合は西湾平均で6.0%、東湾平均で16.1%でした。

ヒトデのラーバは全湾で出現していません。

4 試験採苗器への付着状況

5月21日～28日の7日間のホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場で28,160個/袋、川内実験漁場で68,352個/袋でした。

5 海況

各ブイの5月24日～30日の週別平均水温は表2のとおりです。15m層の5月第6半旬平均水温は、平館ブイでやや高め、青森ブイで平年並みとなっています。東湾ブイはメンテナンス中です。

6 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多い所では間引きが必要です。

西湾では早い所で6月中旬から間引きができる見込みですが、付着稚貝が確実に目で見えるサイズ(殻長2～3mm)になってから行ってください。

東湾の間引きの時期については、6月11日に臨時付着稚貝調査(中層1袋)を実施して**6月14日発行予定の採苗速報第10号に情報を掲載**しますので参考にしてください。

また、ウミセミが多く見られています。ウミセミ1個体は、2mm以下のホタテガイ稚貝を1日に200～300個食べるので、**採苗器の中にウミセミが多く、かつホタテガイの付着数が少ない場合は、袋替えをしてください。**

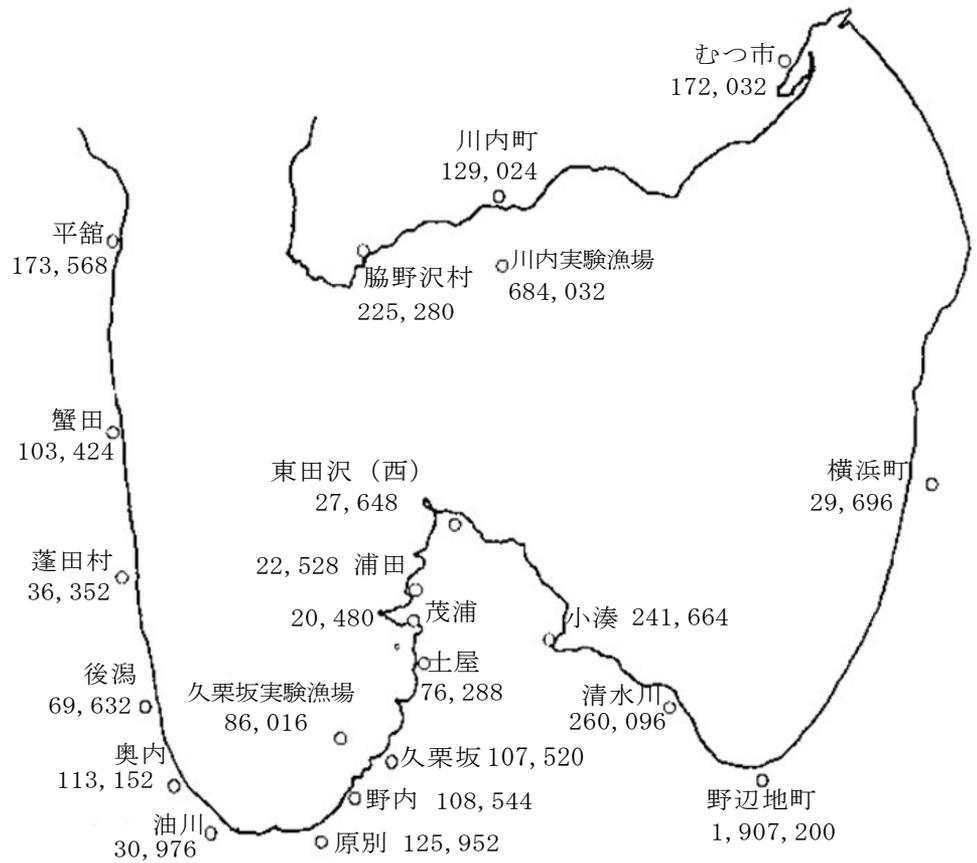


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

表2 各ブイの1週間(5/24～5/30)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.1～13.3	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	10.5～13.6
蓬田ブイ	11.5～13.5	清水川ブイ	10.1～13.0	川内ブイ	10.0～13.1
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	10.1～13.6	脇野沢ブイ	10.0～12.8
青森ブイ	10.5～13.9	東湾ブイ	-		
浦田ブイ	10.5～14.3	横浜ブイ	-		

-:メンテナンス中

